

月刊 あったかいご通信

月刊「あったかいご通信」を発行する土地活用研究会は、地域密着の建設会社が福祉施設の開業をサポートする全国50社の国内最大級のネットワークです。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営のコツ、利用者募集や人材マネジメントなどリクエストも大歓迎です！

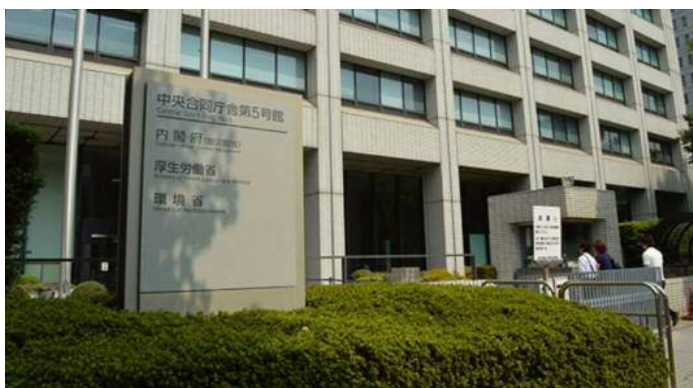
※記事引用・厚生労働省・国土交通省・㈱官公通信社・高齢者住宅新聞社・福祉新聞・日本経済新聞 他

平成30年11月号

【発行元】

岐阜県福祉のまちづくり推進協議会
〒501-3246
関市緑ヶ丘2-5-78
TEL : 0120-337-301
FAX : 0575-24-5733

特養10年で2000カ所増 障害児放課後デイは1万カ所超



「2017年介護サービス施設・事業所調査」で、特別養護老人ホームが前年比2.4%増の7891カ所になったことが分かった。10年間で2000カ所増え、平均して1年に200カ所開設してきたことになる。

入所者の要介護度をみると、要介護1、2の割合が全体の6.7%で過去最少となった。15年4月から新規入所は原則要介護3以上になったことなどが影響しているとみられ、入所者の重度化が進んでいる。平均定員は68.9人で利用率は96.6%。ユニットケアを行う特養は全体の37.9%だった。

地域包括支援センターは3.0%増の5020カ所となり、初めて5000カ所を超えた。センターは05年の改正介護保険法で位置付けられ、地域包括ケアシステムの要とされている。運営主体別では、市町村直営が24.5%、社会福祉法人が55.2%。社会福祉法人の比率は10年前から約12ポイント上がった。

前年比で増加率が高かった事業所は、27.9%増の看護小規模多機能型居宅介護（390カ所）、17.1%増の定期巡回・随時対応型訪問介護看護（861カ所）。減少率が目立ったのは9.7%減の介護療養型医療施設（1196カ所）、4.0%減の訪問入浴介護（1993カ所）と夜間対応型訪問介護（217カ所）だった。

放課後デイは1万カ所超



就学している障害児の通う放課後等デイサービス事業所が1万カ所を超えたことが、9月20日に分かった。同日発表された厚生労働省の「2017年社会福祉施設等調査」によると、17年10月1日時点で1万1301カ所で、前年度の9385カ所から20%増えた。

同サービス事業所は12年4月の創設以来増加傾向にある半面、サービスの質に問題があるとの指摘が相次いでいる。厚労省は人員配置や運営の基準を厳格化し、安易な事業参入を防ごうとしているが、事業所は依然として増えている。